

令和6年能登半島地震

TMAT 災害医療活動報告

2024年1月22日 7:00

第20報

1月21日

8:00

チームミーティングを行い、本日の予定を確認。

9:00

ふれあい健康センターミーティングを実施。

鈴木医師、久保山看護師が出席し現在の避難者と避難所の状況を確認。

段ボールベッドが本日搬入予定

11:00頃

被災地の口腔ケアチームが到着し、福祉部屋の避難者全員の口腔ケア及び指導を実施

12:30

DMAT ミーティングに鈴木医師が参加。

午後帯

伊藤看護師、横尾救急救命士を中心に福祉部屋の避難者の介助、ケア、褥瘡処置を行った。熱発者は減少傾向にあるが、依然として呼吸器症状のある避難者が多くみられる。また、徐々にADLの低下も見られている。

15:00

輪島中学校の避難所から

1家族3名のCOVID19陽性避難者の受け入れ要請あり。既往に精神疾患あるため、1階福祉部屋のゾーニングを実施。

自衛隊より段ボールベッド40床がふれあい健康センターに搬入。

15:30

JMATより視察あり。鈴木医師が対応し避難所内状況の確認。今後の方針について話し合う。

16 : 00

ふれあい健康センター内ミーティングを実施。

16 : 30

久保山看護師が近隣の入浴施設にて避難者の入浴介助を実施

18 : 00

チームミーティングを実施

本日の活動の振り返りと明日の予定を確認。

明日の夕方に本隊第 4 陣が現地入りする予定。

19 : 00

明日から段ボールベッドをフロアに設置予定のため、鈴木医師が避難者に対して利便性などを含め説明を実施。

本日の診療 12 名。内科系が主であった。

また、救急搬送 4 件。主に感染症による酸素化不良による搬送であった。



段ボールベッド導入に関して利便性を交えて説明

なお、令和 6 年能登半島地震 TMAT 支援活動のクラウドファンディングを開始しています。
ご支援ご協力をお願いいたします。

TMAT 令和 6 年能登半島地震クラウドファンディング

<https://congrant.com/project/npotmat/9905>

事務局担当

野口 幸洋 (NPO 法人 TMAT 事務局長/一般社団法人徳洲会東京本部)

阪木 志帆 (NPO 法人 TMAT/一般社団法人徳洲会東京本部)

文責 事務局 野口 幸洋